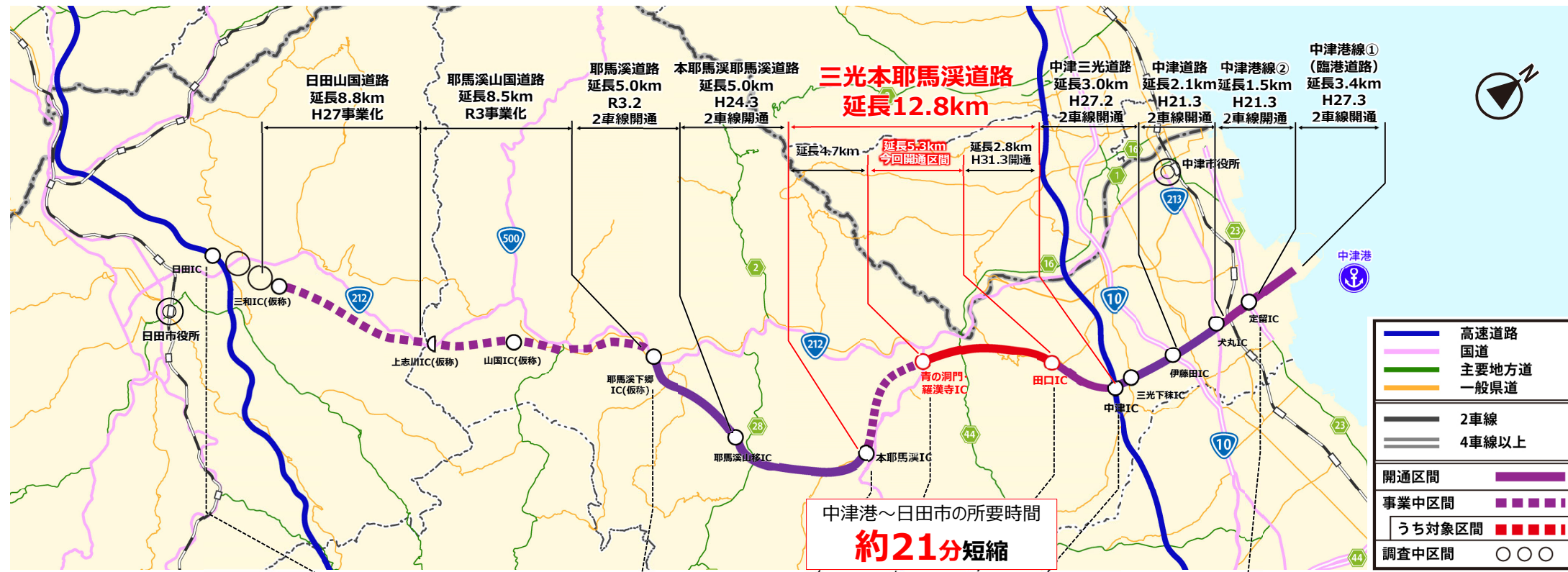
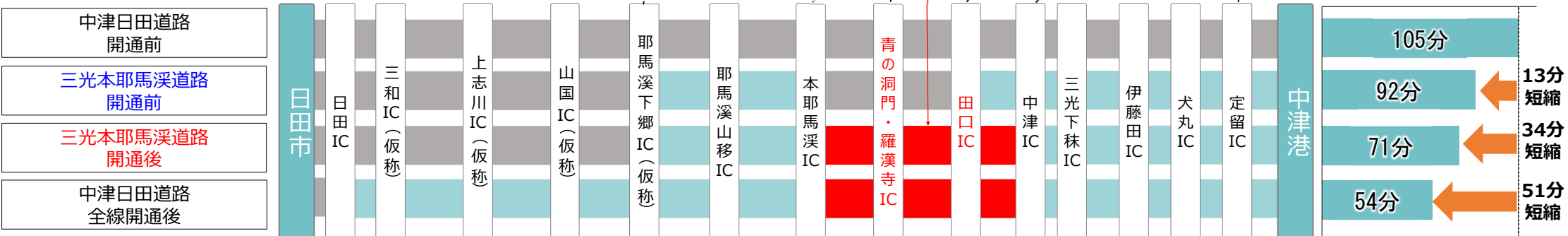


- 中津日田道路は、大分県の中津港から日田市に至る高規格道路であり、三光本耶馬溪道路はその一部を担う延長12.8kmの道路である。
- 三光本耶馬溪道路の開通により、中津港から日田市の所要時間が約21分短縮するなど広域交通ネットワークの形成に寄与。

■中津港から日田市までの所要時間の変化



中津港～日田市の所要時間
約21分短縮



現道利用
 中津日田道路利用
 三光本耶馬溪道路利用

※1 中津港～日田市（日田市役所）間の所要時間
 ※2 R3年全国道路・街路交通情勢調査の混雑時旅行速度で算出
 但し、中津日田道路の未開通区間は設計速度(80km/h)で走行と仮定

- 今回の開通区間に並行する国道212号は、平成24年以降、災害により、年間で平均約9日の全面通行止めが発生するなど脆弱な路線です。
- 令和5年7月の豪雨では、路肩崩落が発生し、全面通行止めとなりましたが、既に供用している本耶馬溪耶馬溪道路等が「代替路」となり、円滑な物流が確保されました。
- 今回の開通により、更なる災害に強い道路ネットワークの構築に寄与します。

■ 国道212号の通行規制状況 (H24~R4) 及び R5年7月豪雨による通行規制箇所



■ 災害発生時の状況



関係者の声 (完成自動車工場ヒアリング)

・令和5年7月の豪雨では、整備済の中津日田道路を利用することで、円滑な物流は確保されたが、今後どこで災害が発生するか不安なため、三光本耶馬溪道路の整備には期待している。



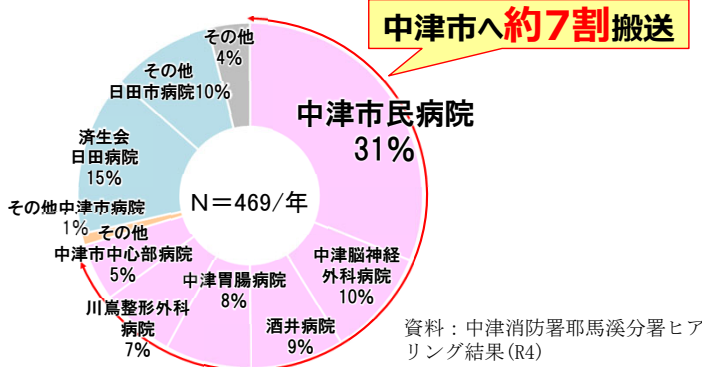
関係者の声 (中津市消防本部ヒアリング)

・平成29年の路面冠水では、本耶馬溪耶馬溪道路が開通していたため、大きな迂回を免れた。
・三光本耶馬溪道路を含む中津日田道路の整備により、更なるリダンダンシー機能が強化され、災害時の活動支援に大きく寄与すると期待している。



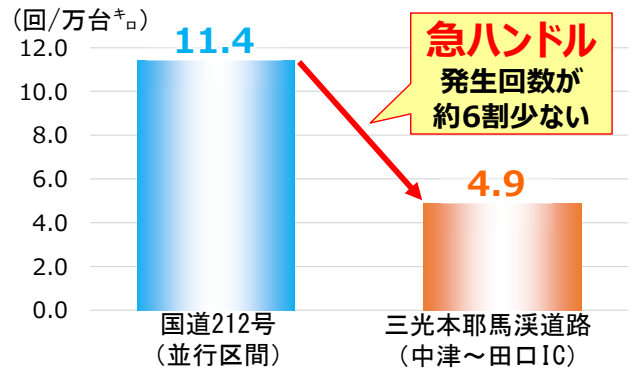
- 耶馬溪地域は救急患者を受け入れる病院が無く、救急患者のうち約7割を中津市中心部の病院へ搬送しています。
- しかし、搬送ルートである国道212号は急カーブによる救急患者への負担が大きいことに加え、搬送時間の長さが課題となっています。
- 今回の開通により、走行性向上による救急患者の負担軽減や、搬送時間の短縮による救命率の向上が図られるなど、円滑な救急搬送を支援します。

■ 耶馬溪地域の救急搬送実績

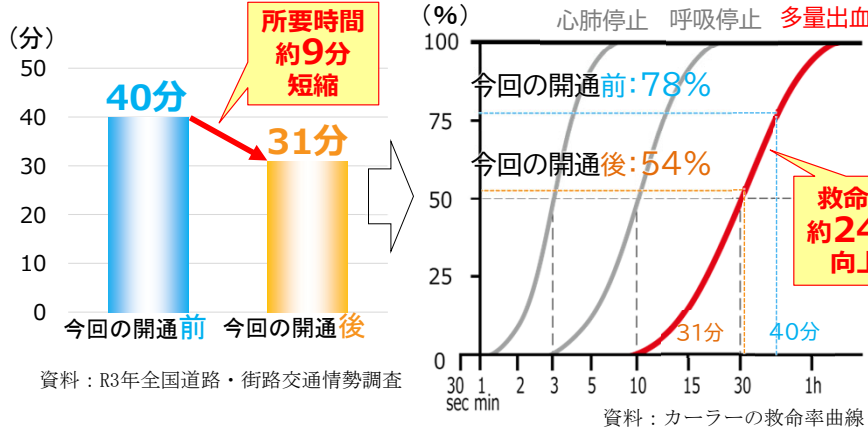


■ 急ハンドル回数

(国道212号と三光本耶馬溪道路の比較)



■ 耶馬溪分署から中津市民病院への所要時間と救命率



関係者の声 (中津消防署耶馬溪分署ヒアリング)

- ・ 耶馬溪地域からの病院搬送は、市中心部方面が多く、国道212号を通行しているが、路面状況の悪い箇所や急カーブがあるため患者に負担をかけやすい。交通量の多い時間帯は、片側一車線ということもあり、**搬送時間が長くなってしまふ。**
- ・ 三光本耶馬溪道路の整備により、市中心部病院への**搬送時の患者負担軽減や搬送時間の短縮が期待できる。**

■ 中津市内の病院への救急搬送ルート



※1 「覚知～医療機関収容」までを1時間と設定し、覚知～現場到着20分、現場活動10分を差し引いた現場～医療機関収容を30分と設定

